（別記）

令和８年度千歳市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、水田面積に占める主食用米面積の割合が約３３％【82.3ha/250.2ha】で、転作作物に占める 小麦【26ha】、大豆【25ha】、飼料作物【65ha】の面積が多く、土地利用型作物の作付割合が高い。

【地域の課題】

① 国内の主食用米の需要は近年減少傾向であったため、畑作物への転換が増えている。地域としては、農家の高齢化が進む中、農家戸数の減少もあることから、所得向上等を図るため、畑作物等から高収益作物等への転換及び作付拡大を図ることが課題である。一方で、主食用米についても一定の需要があることから、需要に応じた水稲作付面積の維持も課題となっている。

② 当該地域は、土壌の肥料保持力が低いことから、地力を向上することで生産力を高め、農業経営の安定化を図ることが課題となっている。

③ 石狩管内の他地域において、小麦の連作障害が発生していることから、当該地域においても適正な輪作体系を構築することで、連作障害を抑制することが課題となっている。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

農業者の所得向上につながる高収益作物や、国内需要の高い大豆、労働生産性の高いてん菜、時間当たりの所得が高い子実用とうもろこし、近年需要が高まっている小豆・菜豆・薬草とその他の振興作物であるそば・なたね等の作付を推進し、小麦の連作障害を防ぐための輪作体系を構築する。

また、産地交付金を有効に活用しながら、当地域の現状や問題点を把握し計画的に推進作物への転換につながるよう目標設定を行うとともに、説明会等において農業者への周知・助言を行い、地域全体で収益力強化が達成されるよう取り組む。

低コスト生産の取組を推進し、実需者ニーズを踏まえた市場性の高い品種の安定生産を推進する。特に当地域の土壌は火山灰質により肥料保持力が低く、また大型農業機械の土壌踏圧等により排水性が悪いため、暗渠等の基盤整備や心土破砕等の排水対策、土壌分析に基づいた土壌改良技術の導入を推進する。

その他、肥料低減や病害虫防除等の取組を導入する。

小麦（ゆめちから）、大豆（ユキシズカ・とよまさり等）、高収益作物である馬鈴しょ・南瓜・ブロッコリーについては産地ブランド化を図り、地域の振興作物である小豆・菜豆については、実需との協議に基づきニーズの高い品種の生産拡大を図る。

野菜・については、消費・実需者ニーズを踏まえた新品種や新規作物の導入を図る。

薬草については、実需者との協議に基づきニーズの高い品種の生産拡大を図る。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田収益力強化を目指し地域の作付実態の把握、作付推進に努める。当地域の水田は有効に活用されているが、例年行う作付計画の聞き取りから、水稲の作付や転作田の活用状況について把握・確認を継続して行い、有効利用なされていない水田の状況や今後の担い手や労働力の状況等を把握しながら必要に応じて農家への助言を行う。

なお、当地域の水田は全耕地面積の１割程度と少なく、水稲以外の作付が続いている

水田においても急激な需給環境の変化や作柄変動に対応し、水稲の作付が再開できる体制の維持を基本とするが、今後の地域の作付方針など実情を踏まえながら、畑地化の取組を進めるための支援を行う。

また、水田収益力強化にあたり、小麦等の連作を防ぎ、地域戦略作物のてん菜や地域振興作物である小豆・菜豆とその他作物のそば･なたね、高収益作物の野菜や花き、労働生産性の高いてん菜や子実用とうもろこし等による輪作を推進し、農業者の所得向上を図るとともに、低コスト生産を推進し、需要に応じた良品質な農産物の安定生産を図る。

４　作物ごとの取組方針等

市内の約２５０haの水田について適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

（１）主食用米

売れる品種の選択・集約と歩留率の向上に向けた取組や業務用需要に対応した、収量性の高い品種導入と販売力の強化を図るほか、ＪＡ道央のブランド米である「う米蔵」の販売強化と良品質・良食味米生産の推進を行う。

（２）備蓄米

備蓄用米の需要動向に応じた作付面積を確保する。

（３）非主食用米

米の需要と供給の動向等を考慮し、飼料用米、米粉用米、加工用米、輸出用米の生産にあたっては、生産者の意向と消費・実需者ニーズを踏まえて生産の推進を行う。

（４）麦、大豆、飼料作物

麦については、適正な輪作体系維持に向け過作を回避しながら、用途別品種の生産体制を整備し、消費・実需者ニーズの高いパン・中華麺用品種へ作付集約する。

大豆は、適正な輪作体系を基本として消費・実需者ニーズを踏まえた市場性の高い品種の生産を推進する。このほか、病害対策も考慮した中で、小麦（ゆめちから）、大豆（ユキシズカ・とよまさり）については産地ブランド化、土壌診断等を踏まえた施肥管理の実施によるコスト削減を図る。

飼料作物は、飼料自給率の向上及び良質粗飼料を確保するため、有機質資材の投入や暗渠等の排水対策などの基盤整備、計画的な草地更新を実施するほか、子実用とうもろこしを活用した輪作体系の確立を図る。

（５）てん菜

適正な輪作体系を図るため作付面積維持を目指すと共に、省力・低コスト生産技術の導入などによる生産性の向上と、産糖量の維持・確保に向けた品質向上対策を推進するため地域戦略作物とする。

（６）地域振興作物

小豆・菜豆については、実需のニーズに基づいた生産と適正な輪作体系の維持を図るため地域振興作物とし、実需者ニーズを踏まえた生産と輪作体系維持のため、一定の作付確保を目指す。

（７）高収益作物（園芸作物等）

野菜については、消費･実需者ニーズを踏まえた新品種や新規作物の導入を図る。

また、馬鈴しょについては輪作体系維持のため作付の維持・推進を図る。

薬草については、実需者との協議に基づきニーズの高い品種の生産拡大を図る。

（８）そば、なたね

　単収の高位安定化を図るために土壌改良の取組を実施することを要件とし、地域の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積の維持に努める。

（９）地力増進作物（別紙のとおり）

　地力増進作物の作付により、良質な農産物の安定供給、生産コストの低減及び環境負荷の軽減に配慮した合理的な施肥管理・土壌管理を進めると共に、輪作体系維持を目的に作付展開を図る。

（10）その他作物

　花き・花木・芝・採油用ひまわりについては、消費・実需者ニーズを踏まえた生産を図る。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　**８　産地交付金の活用方法の明細**

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位：ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	90.18	―	82.30	―	82.30	―
備蓄米	0.00	―	2.33	―	2.33	―
飼料用米	0.00	―	0.00	―	0.00	―
米粉用米	0.00	―	0.00	―	0.00	―
新市場開拓用米	0.00	―	0.00	―	0.00	―
WCS用稲	12.50	―	0.00	―	0.00	―
加工用米	3.30	―	13.90	―	13.90	―
麦	25.20	―	26.00	―	26.00	―
大豆	27.16	―	25.00	―	25.00	―
飼料作物	61.41	―	65.00	―	65.00	―
・子実用とうもろこし	6.40	―	6.00	―	6.00	―
そば	1.25	―	2.00	―	2.00	―
なたね	0.75	―	1.00	―	1.00	―
小豆・菜豆	0.23	―	2.00	―	2.00	―
地力増進作物	1.76	―	6.00	―	6.00	―
高収益作物	16.08	―	15.50	―	15.50	―
・野菜	13.28	―	12.50	―	12.50	―
・花き・花木	0.00		0.00		0.00	
・果樹	0.42		0.50		0.50	
・その他の高収益（薬草含）	2.38	―	2.50	―	2.50	―
その他	10.44	―	9.23	―	9.23	―
・てん菜	1.73	―	3.00	―	3.00	―
・その他作物	8.71	―	6.23	―	6.23	―
畑地化	101.80	―	67.91	―	67.91	―

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	小麦（種子含む）・大豆（種子・黒大豆含む）・飼料作物（別表の通り）・そば・なたね・てん菜・馬鈴しょ（生食・加工・種子含む）・小豆・菜豆・野菜（別紙）・薬草・花き（花壇用苗含む（別紙））・花木（別紙）・芝・採油用ひまわり	土壌改良助成	土壌分析CEC（me値） 土壌改良取組面積（a） 対象作物作付面積（a）	（7年度）14.6 me値 （7年度）11,887 a （7年度）13,376 a	（８年度）15.0 me値 （８年度）16,500 a （８年度）23,440 a
2	てん菜	地域戦略作物助成	対象作物作付面積（a） 対象作物の単収（kg/10a）	（７度度）172.8 a （７年度）4,982 kg/10a	（８年度）1,600 a （８年度）7,000 kg/10a
3	小豆・菜豆（種子・加工・業務用含む）	地域振興作物助成	対象作物作付面積（a）	（７年度） 23 a	（８年度） 300 a
4	野菜（別紙）・馬鈴しょ（生食・加工・種子含む）・薬草	高収益作物等作付助成	対象作物作付面積（a）	（７年度）1,566 a	（８年度）2,700 a
5	非主食用米（飼料用米・米粉用米・加工用米・輸出用米（新市場開拓用米））	非主食用米等作付助成	対象作物作付面積（a） 対象作物の単収（kg/10a）	（７年度） 330 a （７年度） 483 kg/10a	（８年度） 200 a （８年度） 485 kg/10a
6	地力増進作物（別紙）	緑肥転換助成	緑肥作物取組面積（a）	（７年度） 76a	（８年度） 600 a
7	そば・なたね	そば・なたね作付助成	単収増加率（5年比） そば・なたね作付面積（a）	（７年度）▲33.3 % （７年度） 199.9 a	（８年度） 3% 増 （８年度） 300 a

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：北海道

協議会名：千歳市地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	土 壌 改 良 助 成	1	4,400	小麦（種子含む）・大豆（種子・黒大豆含む）・飼料作物（別表の通り）・そば・なたね・てん菜・馬鈴しょ（生食・加工・種子含む）・小豆・菜豆・野菜（別紙）・薬草・花き（花壇用苗含む（別紙））・花木（別紙）・芝・採油用ひまわり	土壌分析に基づく施肥設計及び湿害対策等の土壌改良技術の取組
2	地域戦略作物助成	1	11,000	てん菜	土壌分析に基づく施肥設計及び湿害対策の実施
3	地域振興作物助成	1	5,500	小豆・菜豆（種子・加工・業務用含む）	対象作物を作付けし、出荷・販売すること
4	高収益作物等作付助成	1	5,500	野菜（別紙）・馬鈴しょ（生食・加工・種子含む）・薬草	対象作物を作付けし、出荷・販売すること
5	非主食用米等作付助成	1	10,000	非主食用米（飼料用米・米粉用米・加工用米・輸出用米（新市場開拓用米））	温湯種子消毒・土壌診断に基づく施肥・ケイ酸資材の施用・適期病害虫防除の実施・透排水性の改善対策等の実施・融雪剤散布等、多収品種の導入、スマート農業機器の活用のうち、2つ以上の取組を実施
6	緑 肥 転 換 助 成	1	20,000	地力増進作物（別紙）	当年度対象作物の総作付面積を、昨年度より拡大すること
7	そば・なたね作付助成	1	20,000	そば・なたね	対象作物を作付けし出荷・販売すること及び土壌改良助成の取組を実施

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

【別紙 】

	区分		
1	小豆		
2	馬鈴しょ		生食馬鈴しょ
3			種子馬鈴しょ
4			加工用馬鈴しょ
5	豆類		菜豆
6			えんどう
7	てん菜		
8	野菜	野菜	あさつき
9			明日葉
10			アスパラガス（グリーン）
11			アスパラガス（ホワイト）
12			アスパラガス（紫）
13			いちご
14			いんげん
15			うど
16			うり
17			えだまめ
18			エゴマ
19			オクラ
20			大麦（若葉収穫用のみ）
21			かぶ
22			かぼちゃ
23			カリフラワー
24			かんしょ
25			カイラン
26			カイワレ大根
27			きのこ
28			キャベツ
29			きゅうり
30			ぎょうじゃにんにく
31			クレソン
32			くわい
33			ケール
34			ゴーヤ
35			こごみ
36			小ねぎ
37			ごぼう
38			こまつな
39			コモチカイラン
40			こんにゃく
41			ささげ
42			さつまいも
43			さといも
44			サニーレタス
45			さやいんげん
46			さやえんどう
47			サラダ菜
48			サンチュ
49			しいたけ
50			ししとう
51			しそ
52			しめじ茸
53			しゅんぎく
54			しょうが
55			ジュンサイ
56			食用キク
57			食用ハーブ
58			食用ゆり(ゆりね)
59			スイートコーン
60			すいか
61			ズッキーニ
62			スナップエンドウ
63			せり
64			セルリー
65			ぜんまい
66			そらまめ
67			ソルトリーフ
68			タアサイ
69			だいこん
70			大根菜
71			たいな
72			たまねぎ
73			たらの芽
74			チコリ
75			ちんげんさい
76			ﾃﾝﾀﾞｰﾎﾞｰﾙ（花ニラ）
77			とうがらし
78			冬瓜
79			トマト
80			ながいも
81			なす
82			なた豆
83			菜花
84			軟白ねぎ
85			なんばん

	区分		
86	野菜	野菜	にがうり
87			にら
88			にんじん
89			にんにく
90			にんにくの芽
91			ねぎ
92			野沢菜
93			はくさい
94			花みょうが
95			ハマボウフ
96			パセリ
97			パプリカ
98			ピーマン
99			広島菜
100			ふき
101			ブロッコリー
102			米なす
103			ベビーリーフ
104			ほうれんそう
105			まくわうり
106			実えんどう(ｸﾞﾘｰﾝﾋﾟｰｽ)
107			みずな
108			水わさび
109			実とりからし
110			みつば
111			ミニかぼちゃ
112			ミニトマト
113			みぶ菜
114			みょうが
115			メロン
116			モロヘイヤ
117			ヤーコン
118			山ごぼう
119			山のいも
120			山わさび
121			ゆりね
122			落花生
123			らっきょう
124			ラデッシュ
125			リーキ（ポワレ）
126			リーフレタス
127			ルバーブ
128			ルッコラ
129			レタス
130			レンコン
131			レッドキャベツ
132			わさび
133			わらび
134			わさびだいこん
135	花き・	花き	アイリス
136	花木		アキュレギアノラバーロ
137			アゲラタム
138			アザミ
139			アジサイ
140			アスクレピアス
141			アスター
142			アスチルベ
143			アストランチャ
144			アスパラガス（観賞用）
145			アトランティアマヨール
146			アナベル（切枝）
147			アネモネ
148			アマランサス
149			アマランサスサラダ
150			アリウム
151			アリストロメリア
152			アルケミラ
153			アルブカ
154			アロニア（切枝）
155			イキシア
156			イタリアンルスカス
157			インパチェンス
158			ウイキョウ
159			ウインターグラジオラス
160			うばゆり(ユリ科)
161			ウメモドキ
162			エキノプシス
163			エボタ
164			エリンジウム
165			エレムルス
166			オオデマリ（切枝）
167			オーニソガラム
168			オダマキ
169			おもちゃかぼちゃ
170			オルヤナ

	区分		
171	花き・	花き	オレガノ
172	花木		カーネーション
173			ガーベラ
174			カキツバタ
175			カスミソウ
176			かぼちゃ（観賞用）
177			ガマ(ガマ科)
178			カラー
179			カンゾウ
180			カルカムス
181			カンソ
182			カンパニュラ
183			キイチゴ
184			ギガンジウム
185			キク
186			菊アスター(キク科)
187			切葉類
188			キャラウェイ
189			キャンディタフト
190			金風車(キク科)
191			きんぎょそう
192			クジャクソウ
193			グラジオラス
194			グラスペディア
195			クリスマスローズ
196			クレマチス
197			グロリオーサ
198			けいとう
199			小菊
200			コスモス
201			コティナス
202			コデチャ
203			コデマリ
204			コワニー(ユリ科)
205			サイネリア
206			桜（切枝）
207			桜小町
208			サクラソウ
209			サリクトラム
210			サンダーソニア
211			シオン(キク科)
212			シクラメン
213			ジニア
214			シモツケ
215			シャクヤク
216			宿根デージー
217			ショウブ
218			シレネ
219			白妙菊
220			ｼﾝﾌｫﾘｶﾙﾌｫｽ（切枝）
221			スイートピー
222			スイセン
223			スカビオサ
224			スキミア
225			スズバラ
226			スズメウリ
227			スズラン
228			スターチス
229			スタキス
230			スティパ
231			ストック
232			ストロベリーコーン
233			ストロベリースティック
234			スナップ
235			スノーボール（切枝）
236			スピードリオン
237			スモークグラス
238			スモークツリー（切枝）
239			スモグソウ
240			セダム
241			セファロフォラ（加工用）
242			ゼラニウム
243			セントーレアオリエンタリス
244			千日紅
245			センニチソウ
246			ソリダゴ
247			ソリダゴタラ
248			ソリダスター
249			ダイアンサス
250			大根草
251			ダスティーミラー
252			ダリア
253			チドリソウ
254			チャームブルー
255			チューリップ

【別紙】

	区分		
256	花き・	花き	チョコレートコスモス
257	花木		ツルウメモドキ
258			てまり草
259			テマリシモツケ
260			デルフィニウム
261			とうがらし（観賞用）
262			とうきび（観賞用）
263			トリカブト
264			トリトマ
265			トルコギキョウ
266			トロリウス
267			ナス（観賞用）
268			ナデシコ
269			ナナカマド
270			ナルコ
271			ナルコユリ
272			ナルコ
273			ナルコユリ
274			ニゲラ
275			日々草
276			ネマヘラソウ
277			ネムリヒメ(アヤメ科)
278			ネリネ
279			バイカウツギ（切枝）
280			ハス
281			花かぼちゃ
282			花きび
283			花トウガラシ
284			花トウキビ
285			ハナナス
286			パニカム
287			パブチシア
288			ハボタン
289			バラ
290			バラ実もの（切枝）
291			パンジー
292			ビオラ
293			ビブルナム
294			ヒペリカム（切花）
295			ひま
296			ヒマワリ
297			ヒメヒコダイ
298			ヒメヒマワリ
299			ヒャクニチソウ
300			ピンピネラ
301			フェンネル
302			フサスグリ（切花）
303			ふじなでしこ
304			フジバカマ
305			プッチーニ(ウリ科)
306			ブプレ(セリ科)
307			ブプレウルム
308			ブラックパール
309			フリージア
310			ブルースター
311			ブルースプレー
312			ブルーレースフラワー
313			ブルビネラ
314			フロックス
315			ベコニア
316			ベチュニア
317			ベニバナ
318			ヘリクリサム
319			ヘレニューム
320			ベロニカ
321			ポインセチア
322			ホオズキ
323			ボタン
324			ホトトギス
325			ホワイトレースフラワー
326			マーガレット
327			マトリカリア
328			マンサク
329			ミズヒキ
330			ミナズキ（切枝）
331			ムギ（観賞用）
332			ムスカリ
333			紫式部（切枝）
334			メコノプシス
335			メロン（観賞用）
336			モナルダ
337			モルセラ
338			ヤナギ（切枝）
339			ヤマゴボウ
340			山ブドウ(ブドウ科)

	区分			
341	花き・	花き		ユーカリ
342	花木			ユーストマ
343				ユーパトリウム
344				ユーホルビア
345				ユキヤナギ(バラ科)
346				ユリ
347				洋ラン類
348				ラークスパー
349				ライラック（切枝）
350				ラナンキュラス
351				ラフィー
352				ラベンダー
353				ラムズイヤー
354				リアトリス
355				リアリナ
356				リオン
357				リシマキア
358				リンゴ（観賞用）
359				リンドウ
360				ルドベキア
361				ルリダマ
362				ルリタマアザミ
363				レースフラワー
364				ローズマリー
365				ロマネスコ
366				ワレモコウ
367				利休草
368		花木	花木	アジサイ
369				アナベル
370				アロニア
371				イチイ
372				ウメモドキ
373				エニシダ
374				オオデマリ
375				カイヅカイブキ
376				かえで
377				カリンズ
378				金宝樹
379				きいちご（観賞用）
380				コティナス
381				さくら
382				サツキ
383				サンゴミズキ
384				シキンカラマツ
385				ツゲ系
386				ツツジ
387				ナナカマド
388				バラの実
389				ヒバ系
390				ブルーベリー
391				ヒペリカム
392				マンサク
393				ミナズキ
394				モミジ
395				ライラック
396		果樹	果樹	ぶどう
397				うめ
398				すもも
399				ブルーベリー
400				カーランツ(ふさすぐり)
401				グーズベリー(すぐり)
402				ハスカップ（ｸﾛﾐﾉｳｸﾞｲｽｶｸﾞﾗ）
403				プルーン
404				マルメロ
405				アロニア
406				ラズベリー
407				きいちご
408		雑穀	雑穀	あわ
409				ひえ
410				きび
411				ハトムギ
412				アマランサス
413				いなきび
414				子実用えん麦
415				たかきび
416				八列とうきび
417		地力増進作物	地力増進作物	えん麦
418				とうもろこし
419				ソルガム
420				ｲﾀﾘｱﾝﾗｲｸﾞﾗｽ
421				ｷﾞﾆｱｸﾞﾗｽ
422				ｽｰﾀﾞﾝｸﾞﾗｽ
423				ｱｶﾑﾛｰﾊﾞｰ
424				ｱﾙｻｲｸｸﾛｰﾊﾞｰ
425				ｸﾘﾑｿﾝｸﾛｰﾊﾞｰ

	区分			
426	地力増進作物	地力増進作物	地力増進作物	ベッチ類
427				ペルコ
428				カラシナ類
429				レバナ
430				はぜりそう
431				マリーゴールド
432				ひまわり
433				キガラシ
434				ステビア
435				ナタネ
436				ヘイオーツ
437				ライ麦
438	その他作物	その他作物	切り花母樹	梅もどき
439				ｼﾝﾌｫﾘｶﾙﾎﾞｽ
440				ススバラ
441				スノーボール
442				スモークツリー
443				つる梅もどき
444				ナナカマド
445				バラ実物
446				ヒペリカム
447				フサスブリ
448				紫式部
449				ヤナギ
450				ユキヤナギ
451				ライラック
452				リンゴ
453				ローズピップ
454			芝	
455			苗もの	野菜苗
456				花壇苗
457				果樹苗
458				苗木
459			採種	いんげん
460				えんどう
461				採種用野菜
462				パンジー
463			薬草	
464			ひまわり(油糧用)	
465			ホップ	
466			香料作物	青シソ
467				ｱｯﾌﾟﾙﾐﾝﾄ
468				ｲﾀﾘｱﾝﾊﾟｾﾘ
469				オレガノ
470				ｸﾘｰﾋﾟﾝｸﾀｲﾑ
471				しそ
472				ｽｲｰﾄﾊﾞｼﾞﾙ
473				セージ
474				ｾﾌｧﾛﾌｫﾗ
475				チャイブ
476				ハッカ
477				フェンネル
478				ペパーミント
479				ラベンダー
480				ルッコラ
481				ﾛｰｽﾞﾏﾘｰ
482				ﾛｰﾏﾝｶﾓﾐｰﾙ
483				ﾛｰﾏﾝｶﾓﾐｰﾙﾀﾞｲﾔｰｽﾞ

（別表）飼料作物の範囲

子実用とうもろこし、青刈りとうもろこし、青刈りソルガム、テオシント、スーダングラス、青刈り麦（らい麦又はえん麦を含む。またサイレージ化したものを含む）、青刈り大豆、子実用えん麦、青刈りひえ、しこくびえ、オーチャードグラス、チモシー、イタリアンライグラス、ペレニアルライグラス ハイブリットライグラス、スムーズブロムグラス、トールフェスク、メドーフェスク、フェストロリウム、ケンタッキーブルーグラス、リードカナリーグラス、バヒアグラス、ギニアグラス、カラードギニアグラス、アルファルファ、オオクサキビ、アカクローバ、シロクローバ、アルサイククローバ、ガレガ、ローズグラス、パラグラス、パンゴラグラス、ネピアグラス、セタリア、飼料用かぶ、飼料用ビート、飼料用しば

（注）上記の飼料作物については、食用に供される畜産物を生産するために飼養される牛、馬、めん羊、山羊に供される場合に限ります。